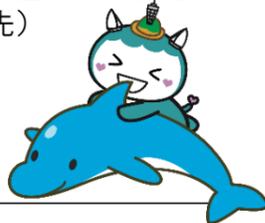


片瀬だより

令和4年6月25日発行
 編集・発行
 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 片瀬公民館
 電話 29-7171
 FAX 25-8907

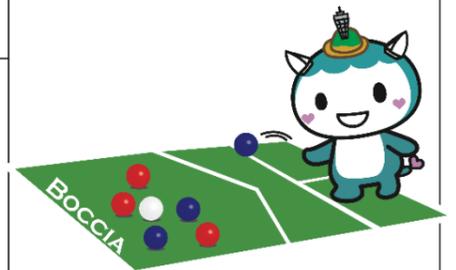
片瀬公民館(本館)

イルカ学級(乳幼児家庭教育学級)
 9月13日から11月29日まで 《要申込》
 全11回 午前10時から正午まで
 毎回火曜日(11月23日は祝水曜日)
 ☆1歳6か月以上の未就園児と保護者12組
 (地区内、初めての方優先)



楽しく子育て 《要申込》
 ・7月20日(水)『ふれあい遊び』
 午前10時から正午まで 乳幼児親子8組
 ・8月17日(水)『大きな紙に絵をかこう』
 午前10時から正午まで 乳幼児親子8組
 ・9月21日(水)『親子リトミック』
 ①午前10時から10時45分まで
 ②午前11時から11時45分まで
 ①・②ともに乳幼児親子8組

夏休み 子ども事業 《要申込》
 ・7月29日(金)『調理教室』
 ・8月1日(月)『片瀬こま教室』
 ・8月8日(月)『藍でマスクを染めよう!』
 ・8月22日(月)『海の教室~深海と海の環境を学ぼう~』
 ・8月28日(日)『ポッチャに挑戦!』
 を、予定しています。詳細は学校配布のチラシ・地域回覧を、ご覧ください。



知笑の輪倶楽部 《要申込》
 7月25日(月)
 『緑茶を食べる~茶は養生の仙薬なり~』
 午後1時30分から3時30分まで
 申込先着20人

おひざの上のおはなし会 《要申込》
 ・7月15日(金)・9月16日(金)
 午前11時から正午まで
 対象:乳幼児と保護者5組

オレの挑戦! 《要申込》
 ~Katase 男(DAN)dismへの道
 セカンドシーズン~
 2年目のテーマは、ずばり
 『湘南BOY集まれ!』
 9月~11月に全4回で開催予定!
 スポーツ、音楽、お酒などのプログラムを
 予定しています。
 40~50代男性の皆さん、ぜひご参加ください。

おもちゃの病院 《申込不要》
 ・7月16日(土)・8月20日(土)
 ・9月17日(土)
 午後1時30分から3時30分まで
 ※部品代がかかる場合が、あります

スマホお助け隊 《要申込》
 ・7月12日(火)・8月9日(火)
 ・9月13日(火)
 各回3回入れ替え制(各回55分程度)

片瀬しおさいセンター

手芸のじかん 《申込不要》
 ・6月27日(月)・7月25日(月)
 ・8月22日(月)・9月26日(月)
 午前10時から正午まで
 ※お好きな材料や道具をお持ちください。

卓球・バドミントン開放 《申込不要》
 ・7月24日(日)・8月21日(日)
 ・9月11日(日)
 〈バドミントン〉各回16人 入れ替え制
 午前9時から10時20分まで
 午前10時40分から正午まで
 〈卓球〉各回32人 入れ替え制
 午後1時30分から2時50分まで
 午後3時10分から4時30分まで
 各回、15分前から受付開始(先着順)

忙しい人のための ナイトストレッチ 《申込不要》
 ・7月8日(金)『自然の香りの中でストレッチ』
 ・8月26日(金)『心と身体をつなぐバレトン』
 ・9月9日(金)『快適睡眠 ナイトバランスボール』
 各回、午後7時から8時まで
 当日受付 先着20人

赤ちゃん和妈妈の ふれ愛タイム 《要申込》
 9月6日(火)
 『産後 Mama のリカバリーピラティス with Baby』
 ①午前10時から10時45分まで
 ②午前11時から11時45分まで
 ☆生後4ヶ月から7ヶ月児と保護者



詳細につきましては、館内の配布チラシ・地域回覧・広報ふじさわをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽中止・変更になる場合があります。
公民館事業のお知らせ ◎申込は、すべて本館へ電話または来館で(平日のみ午前8時30分から午後5時まで)

はじめまして

新たに着任された片瀬中学校の校長先生をご紹介します。

片瀬中学校

湯山 薫 校長先生



1947年(昭和22年)に創立され、今年創立75年を迎える片瀬中学校に校長として着任いたしました。古い歴史と伝統のある片瀬中学校に勤務できることを大変嬉しく感じると共に、身の引き締まる思いでございます。

片瀬地域のみなさまには、日頃より本校の教育活動に多大なるご協力やご支援を賜り感謝申し上げます。

今年度の片瀬中は「認め合おう高め合おう」をスローガンにしております。「認め合おう」とは、多様性の尊重・互いを認め合う授業、学校経営、部活度指導等。「高め合おう」とは、学校でしかできない協働的な学び・体験を共有し学び合い教え合う・生徒同士、生徒と教師等の対話を大切にする・多様な考え方や背景等を知

り、視野を広げ、自分の考えを深め、表現する等です。

また、昨年度、五重塔の模型が片瀬小学校より移設されました。法隆寺・五重塔の十分の一の縮尺で宮大工さん作成の大変貴重なものです。(故・甘粕三郎氏寄贈)お近くにお越しの際はご覧いただければと思います。

今年度も、保護者の皆様、地域のみなさまのご支援をいただき、生徒が今後の片瀬地区を支える存在となるよう職員一同努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

生徒数 428名
教職員数 37名



片瀬の老舗を訪ねて⑤

「上州屋」



上州屋さん



名物の「片瀬まんじゅう」

名物の「片瀬まんじゅう」は上州独特のもろみ酒を発酵させて作る酒まんじゅうからヒントを得て作られたと伺いました。それについて興味深い話がひとつ。「片瀬まんじゅう」を参考に故郷伊香保温泉名物「湯の花まんじゅう」がつくられたそうだと伺いました。

「現在は食生活や暮らし方の変化でおまんじゅうの消費が減っている」と隆蔵さんは心配されていますが、幼い頃より店を継ぐことを決めた功蔵さんは「安心・安全な材料を使う菓子作りをこれからも続けますよ」と意欲を示されました。

功蔵さんはSNS(フェイスブックやインスタグラムなど)でも店の様子を積極的に発信されています。是非、ご覧下さい。四季折々を楽しませてくれる和菓子の魅力が伝わります。



約200年前から、この場所で営業されています



7代目の隆蔵さんと、8代目の功蔵さん

鎌倉時代、江の島に登場する人々の足跡を辿る①

堀 浩侃

「吾妻鏡」によれば、養和二年(一一八二)四月日源頼朝を筆頭にして鎌倉武士が江の島の岩屋に参詣して、京都高尾神護寺の文覚上人を招いて、奥州藤原秀衡討伐戦勝祈願を行い、岩屋本宮に宇賀弁才天を勧請し、鳥居を寄進している。この時、頼朝、文覚上人、後の「鎌倉殿の十三人」の北条殿(時政)、足立右馬允(遠元)、和田小太郎(義盛)とその側近者の佐々木定綱と佐々木盛綱兄弟が登場している。そして始めて史実に「江島」という地名が出てくる。以後江戸時代に二臂弁才天が信仰されるようになるまで「戦いの神」としての弁才天信仰が広まり鎌倉将軍家や北条歴代執権などの東国武士達がしきりに江の島を訪れるようになった。また、海上の拠点として重要な島となり、戦国武将が確保に意を注ぐようになる。



文覚上人

頼朝は、源義朝

の三男であったが、母が熱田神宮の宮司の娘で正室であったので源氏の後継者となつている。文覚上人は、後白河法皇への非礼の罰で伊豆に流され、頼朝と運命の出会いをしている。また「皇国地誌」では遠藤村の領主にもなつている。佐々木定綱と盛綱は佐々木秀義の長男と三男で、秀義は、源頼朝が伊豆国で平氏打倒の兵をあげる際、定綱、経綱、盛綱、高綱の四人の子息を頼朝拳兵に従わせている。また鎌倉の小動神社は、佐々木盛綱が文治元年(一一八五)に創建している。



伝源頼朝寄進の鳥居

江の島の岩本坊初代別当職、間宮肥前守の子息智宗は、宇多源氏の流れを汲む近江国佐々木荘に住んだ佐々木秀義の一族である。



源頼朝が文覚上人に命じて作らせた八臂弁財天 (2019年国重要文化財指定)

江の島は教材の宝庫①

「6月は磯の観察の最適期」

江の島では様々な自然観察が楽しめます。磯での生き物観察は、科学少年団でも毎年楽しみにしているイベントです。外洋に面している南の磯はとりわけ生きものの種類が豊富です。安全に配慮しつつ、生きものを採しに行きましょう。

磯の観察は干潮の時間に合わせて行います。1日に2回ある干潮は様子が異なります。6月ごろの干潮は、日中の方が良く引き、夜は引きません。11月ごろは真逆になります。そんな理由からも、今は観察が最適期なのです。紙面の都合で4つの生きものの写真のみとしますが、教育センター刊「みどりの江の島」など、図鑑を手に磯に出かけてみて下さい。

著・写真 鹿兒嶋英克氏



ヨロイソギンチャク (貝のかけらを鑑に)



ウノアシ (鵜の足)



イソヨコバサミ (よく見るヤドカリ)



イワフジツボ (小さい)

私の散歩道

「片瀬山公園」

公園に行く時、坂をきつーと思つたら運動不足。調子がいい。そんな健康バロメーターになつている公園です。園内は自然が多く残り、大きな樹木が枝を広げています。片瀬の町や富士山、海を眺めたり、「片瀬だより」で知った龍口園という遊園地の痕跡を探したりしています。鳥やリスも多く大好きな公園です。



(0)

片瀬のワンシヨット



木彫りの愛らしいカメ。どこにいるか、ご存じですか？ (答えは4面です)

ふるさと片瀬く今昔あれこれ③⑥

中村 喬

「片瀬川クルーズ」の夢

明治三十五年に江ノ電の藤沢と片瀬を結ぶ路線が開通した。それまでは人力車や舟が江の島詣での客を運んでいたというのだから、地元の人たちにとつてのカルチャーショックは大きかったに違いない。

舟は現在の上山本橋のかかるあたりから出ていたらしい。河口まで客を乗せた。途中馬喰橋の辺りには休憩所があつたという話を聞いたこともある。

時は移り江ノ電が開業百二十年を迎えようとしている。片瀬の町も大きく変わった。一方でずっと変わらない姿も残している我がふるさとである。片瀬川に船を浮かべてその景観を楽しみたいという夢を持っている。

今、カヤックやサップが折々川面を行き来する。私が子どもの頃には河口付近に貸しボート屋が並び、客を呼んでいた。

さて、夢のクルーズ船は河口から出発する。昔の人が見たら目を回すであろう高層のマンションの林立である、船はすぐに片瀬橋をくぐる。水上から橋の姿はどっしりとして力強く映る。続いて弁天橋、そして山本橋とそれぞれの橋の個性的なデザイン

ンが楽しい。四季折々に姿を変える桜木、和風建築のたずまいが美しいカトリック教会を左手に見て西浜橋をくぐる。昔の姿をとどめる松林が続く。かつては砂丘地帯だったところだ。砂の移動を止めるために植林した松の芽を食い荒らす兎が跋扈(ばつこ)していたという。

鉄橋を渡る江ノ電を船から見上げるのも愉快だ。水中には群れを成して鯿(ぼら)が遡上していく。川岸の葦原は今はない。川鶉や鴨、鴨の姿も間近に眺められる。全山緑と田や畑だった片瀬山はすっかり住宅地に変わった。

昔を思い、今の姿を川に浮かべた船上から眺める、そんなクルーズが実現しないだろうかと夢を見ている。

「茜さす 相模の海へ 産土の川はしづかに 流れてやまず」



桜に彩られた片瀬川 2022.6.5 M.N.

のぞいてみよう！公民館

「春うららコンサート」

3月12日(土)に、春うららコンサートが、2年ぶりに開催されました。音楽・芸能サークルから9グループが参加しました。

ウクレレ、ジャズ、三線(さんしん)、バイオリン、箏、尺八、コーラス、バリ舞踊といった様々な発表を見てみると、プチ世界旅行をしたような気分になりました。

来場者数も2年前とほぼ変わらない状況で、多くの人がコンサートの開催を待ち望んでいたようです。

コンサートは、コロナ禍で疲れた心を癒してくれました。

今年は、秋のふれあいまつり、そして春うららコンサートが例年通りに開催されて、片瀬地区の皆さんの気持ちがあつても癒されて欲しいと願うばかりです。



片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも一人6冊まで2週間借りられます。

【開室時間】火・日曜日 午前10時〜午後5時

《新刊案内》

「夏の体温」 瀬尾 まい

「古本食堂」 原田 ひ香

「チンギス紀13」 北方 謙三

「漆花ひとつ」 澤田 瞳子

「独り立ち(吉原裏同心37)」 佐伯 泰英

「京乱(高家表裏譚5)」 上田 秀人

「るるぶ東京23」 JTB

「大ピンチずかん」 鈴木のりたけ

「のいちごつみ」 さとう わきこ

編集後記

暗いニュースが続く毎日ですが桜を皮切りに片瀬の町では色とりどりの花が咲き始め、心を癒してくれれます。人の世も穏やかにあつてほしいと願うこの頃です。鎌倉時代と江の島にまつわるお話の連載が始まりました。歴史のある町の素晴らしさを再確認していただくと幸いです。